

## 平成21年度 第1回公民館運営審議会 議事録

日 時 平成22年2月16日(火) 午前10時～

場 所 柏原市立公民館 2階 多目的室

出席者 公民館運営審議会委員

石橋實、浦野かをる、上井希子、川本町子、佐野徹、嶋原貞夫、田中秀昭、  
姫野國廣、山田勝久、山本壽子(50音順)

事務局

岡本彰司(生涯学習部長)、長谷隆(公民館館長)、酒谷敬三郎(公民館主幹)、  
菅原真純(公民館主査)、山元麻未(公民館主事)

案 件

- (1) 会長、副会長の選任について
- (2) 平成21年度事業報告について(報告事項)
- (3) 平成22年度事業計画(案)について(公民館講座)
- (4) その他

**発言要旨ほか**

- (1) 会長、副会長の選任について  
(賛成多数で山田委員を会長に、浦野委員を副会長に選任)
- (2) 平成21年度事業報告について  
(事務局から市民文化講座、市民文化祭、利用状況について報告)

委 員

資料に受講者数と書いてあるのは成果発表会に出される人数のことですか？

事務局

記載された人数は当初の申込者数です。途中で退講する受講者は1割5分程度です。

委員

特に受講者が減った講座はどれですか？

事務局

市民文化講座は6月から2月まで10カ月開催され、期間が長いせいもあり一途中でいろいろな事情で続けられなくなる受講生もおられます。そのため各講座ともほぼ同じ程度に1割5分ぐらいの受講生が退講されますが、2割に届くところはありません。

委員

私は国分に住んでいますが、国分で開かれる講座が少ないのではありませんか？人口の点でも柏原にひけをとるわけではなく、機会均等の点から公平を欠いているようにも感じるのですが・・・。

事務局

国分地区での事業としては、教育大の先生方による教養講座を国分図書館4階の多目的室で開いております。また市民文化講座はペン習字講座を国分合同会館で開いております。公民館としても、できるだけ国分図書館を含め、国分地区での講座を開催していきたいと考えております。

### (3) 平成22年度事業計画(案)について

(事務局から講座はじめ事業計画の説明)

委員

春・秋の2期に分けて各月3回とし、講座の回数を詰めて期間を長く空けないことに賛成です。人気のある講座を引き続き翌年度に中級にレベルを上げて、年度を越えて継続させていくことを検討してはどうですか。

市民講座と逆に教養講座については国分で多く開催されていることがうらやましいぐらいです。両者を補い合いながらやればよいと思います。

事務局

2期に分けたのは、受講の機会を増やすとともに、ご指摘のように各回の講座の間隔を

空けず初心者にも続けやすく、また期間を4か月として短くすることによって受講の予定の見通しも立てていただきやすく、集中して講座を受けてもらうことを目的としております。その方向で現在講師の先生方とも協議しております。

#### (4) その他

##### 委員

福祉課の担当する市民ひろば（「栄吉」）という施設ができ、市民の生涯学習の場として利用されています。同じ業務を行なうのであれば、社会教育とか福祉といった垣根を越えて、国分図書館も含めて、生涯学習という、より大きな観点からの事業の位置づけと施策の実施を実現してほしいと思います。